

50歳から発症率が急増する「帯状疱疹」。今回から帯状疱疹に関するお話をしていきます。

まず。実際、日本では成人の90%以上がこのウイルスを体内に持っているといわれていますが、帯状疱疹が引き起こされます。

また免疫や抵抗力の低下な免疫抑制剤の使用など、免疫機能が低下する疾患を持つ人は、より発症しやすくなります。

帯状疱疹の症状は、腕や胸、背中など多くは上半身にみられ、顔や首など外見が気になるところに現れることもあり、体の左右どちらか一方の神経に沿って帯状に現れる赤い発疹や水ぶくれが特徴です。発症初期には皮膚に神経痛のような痛みだけで、発疹が現れず、筋肉痛や関節痛、肋間神経痛、さらには腹痛など

帯状疱疹の症状は、腕や胸、背中など多くは上半身にみられ、顔や首など外見が気になるところに現れることもあり、体の左右どちらか一方の神経に沿って帯状に現れる赤い発疹や水ぶくれが特徴です。発症初期には皮膚に神経痛のような痛みだけで、発疹が現れず、筋肉痛や関節痛、肋間神経痛、さらには腹痛など

テレビやラジオの影響によって帯状疱疹という病気の名前を耳にしたことがある方も多いのではないのでしょうか。実はこの病気は、水ぼうそうの原因となるウイルス(水痘・帯状疱疹ウイルス)が原因で引き起こされるもので、水ぼうそうにかかったことがある人なら誰でも帯状疱疹を発症する可能性があります。

また免疫や抵抗力の低下な免疫抑制剤の使用など、免疫機能が低下する疾患を持つ人は、より発症しやすくなります。

帯状疱疹の症状は、腕や胸、背中など多くは上半身にみられ、顔や首など外見が気になるところに現れることもあり、体の左右どちらか一方の神経に沿って帯状に現れる赤い発疹や水ぶくれが特徴です。発症初期には皮膚に神経痛のような痛みだけで、発疹が現れず、筋肉痛や関節痛、肋間神経痛、さらには腹痛など



1. 帯状疱疹とは

「いわて医療通信」50歳以上は気をつけよう

帯状疱疹の症状は、腕や胸、背中など多くは上半身にみられ、顔や首など外見が気になるところに現れることもあり、体の左右どちらか一方の神経に沿って帯状に現れる赤い発疹や水ぶくれが特徴です。発症初期には皮膚に神経痛のような痛みだけで、発疹が現れず、筋肉痛や関節痛、肋間神経痛、さらには腹痛など

帯状疱疹の症状は、腕や胸、背中など多くは上半身にみられ、顔や首など外見が気になるところに現れることもあり、体の左右どちらか一方の神経に沿って帯状に現れる赤い発疹や水ぶくれが特徴です。発症初期には皮膚に神経痛のような痛みだけで、発疹が現れず、筋肉痛や関節痛、肋間神経痛、さらには腹痛など

帯状疱疹の症状は、腕や胸、背中など多くは上半身にみられ、顔や首など外見が気になるところに現れることもあり、体の左右どちらか一方の神経に沿って帯状に現れる赤い発疹や水ぶくれが特徴です。発症初期には皮膚に神経痛のような痛みだけで、発疹が現れず、筋肉痛や関節痛、肋間神経痛、さらには腹痛など

内丸メデイカルセンターは、紹介状の有無に関わらず受診が可能です。

佐々木 夢希

皮膚科学講座

岩手医科大学

次号では治療や予防に関してお伝えしていきます。

帯状疱疹の症状は、腕や胸、背中など多くは上半身にみられ、顔や首など外見が気になるところに現れることもあり、体の左右どちらか一方の神経に沿って帯状に現れる赤い発疹や水ぶくれが特徴です。発症初期には皮膚に神経痛のような痛みだけで、発疹が現れず、筋肉痛や関節痛、肋間神経痛、さらには腹痛など